

920MHz帯近距離通信システムの技術的条件の検討に関する基本方針

情報通信審議会 情報通信技術分科会携帯電話等高度化委員会 (平成23年2月9日)

諮問第81号「携帯電話等の周波数有効利用方策」のうち「700/900MHz帯を使用する移動通信システムの技術的条件」のうち「900MHz帯を使用する移動通信システムの技術的条件」

にて報告された内容を踏まえ、ユビキタスネットワークワーキングフォーラム UHF帯電子タグシステム標準化WGにおいて、当作業班の「920MHz帯電子タグシステム等の技術的条件」の検討に関し、関係各社の意見の集約、とりまとめを行う。

「技術的条件の検討概要」

- ① 対象とする周波数帯は915～928MHzとし、現状の950～958MHz帯のチャンネルプランを原則踏襲する。
- ② パッシブタグシステムは、欧州での周波数割当検討状況を睨み、917～922MHz帯に収容し、可能な限りチャンネルを一致させる。
- ③ 916～917MHz帯に簡易なりモコン等の利用を想定したLBT不要・低DUTYの1mW局の利用を検討。
- ④ パッシブとアクティブの帯域共用は行わない方針で実現性の検討を行う。
- ⑤ 新たに拡張される5MHz相当(923～928MHz)は、今後利用が飛躍的に拡大すると思われるスマートメーター系の利用を想定し、チャンネル配置を検討する。
- ⑥ 免許を要しない無線局の空中線電力の上限を1Wとする国内電波法改正に伴ない、パッシブ、アクティブ共に送信出力の見直しを行う。
- ⑦ 隣接するシステムの変化に伴い、共用条件が変わることからスペクトラムマスクの見直しが可能であるか検討を行う。
- ⑧ 将来を視野に、928～930MHz帯のGBについても縮減が可能かどうか検討を行う。(答申は700MHz帯の一部答申時を視野に)